

『丸岡城堪能コース』

丸岡城天守に絞ったコースです

START 丸岡城（ガイドさんと合流）（60分） WC
▼徒歩 約5分
歴史民俗資料館（15分）
▼徒歩 約5分
お土産 一筆啓上茶屋 WC

9:00

丸岡城（まるおかじょう）

観光ボランティアガイドさんと丸岡城案内所前で待ち合わせ
春には満開の桜の中に浮かぶ絶景が楽しみ、別名「霞ヶ城」とも呼ばれる名城
国の重要文化財に登録されています
入城料:450円



10:05 歴史民俗資料館
(れきしみんぞくしりょうかん)

2019年3月にリニューアルオープン
1階は丸岡の民俗の歴史を紹介し、2階は丸岡城にまつわる歴史や貨幣などがご覧いただけます
※入館料は丸岡城の入城料に含まれています



11:25

一筆啓上茶屋（いっぴつけいじょうちゃや）

丸岡城の下にあり、挽きたて・打ちたて・茹でたての「越前手打ちそば」が食べられます
その他にも丸岡の名産品が色々と販売されています

3月～11月に限定販売されているソフトクリームもおススメ




お申込み：丸岡観光ボランティアガイド協会

0776-66-0303（丸岡城管理事務所）

8:30～17:00

『丸岡城下町散策内堀コース』

五角形の内堀跡を周回するコースです

START 丸岡城（ガイドさんと合流）（30分） 

▼徒歩 約5分

歴史民俗資料館（15分）

▼徒歩 約15分

タブの木・切支丹灯籠（5分）

▼徒歩 約10分

田島川と外堀（5分）

▼徒歩 約10分


大手門跡（5分）

▼徒歩 約10分

一筆啓上日本一短い手紙の館（15分）

▼徒歩 約5分

お土産

一筆啓上茶屋 



9:00

丸岡城（まるおかじょう）

観光ボランティアガイドさんと丸岡城案内所前で待ち合わせ
春には満開の桜の中に浮かぶ絶景が楽しめ、別名「霞ヶ城」
とも呼ばれる名城

国の重要文化財に登録されています
入城料:450円

9:35

歴史民俗資料館

（れきしみんぞくしりょうかん）

2019年3月にリニューアルオープン
1階は丸岡の民俗の歴史を紹介し、2階は丸岡城にまつわる歴史や貨幣などがご覧いただけます
※入館料は丸岡城の入城料に含まれています



10:05

タブの木

福井震災で周囲の木々が殆ど焼失した中で、丸岡城当時の名残を残す唯一の大木です

町民は長寿で幸運のタブの木を国神社の神木としてしめ縄をはり大切にしています



切支丹灯籠

（きりしたんとうろう）

火袋を支える竿石にマリア像が彫られ、更に竿石の上部は十字架をかたどっているようです

キリシタン信者が密かに礼拝したものだろうと思われま



10:20

田島川と外堀

（たじまがわとそとぼり）

丸岡城を取り囲む内堀は明治時代には埋め立てられ、今は道路になっています

外堀は用水路となり、今も町のあちこちにその面影が残っています



10:35

大手門跡

（おおてもんあと）



11:10

一筆啓上茶屋

（いっぴつけいじょうちゃや）

丸岡城の下にあり、挽きたて・打ちたて・茹でたての「越前手打ちそば」が食べられます

その他にも丸岡の名産品が色々と販売されています



3月～11月に限定販売されているソフトクリームもおススメ

10:50

一筆啓上 日本一短い手紙の館

（いっぴつけいじょう にほんいちみじかいてがみのやかた）

日本一短い手紙コンクール一筆啓上賞の過去入賞作などを紹介する会館
流れ落ちる“文字の滝”から同賞の入賞作が浮かび上がる映像設備など、趣向をこらした展示で手紙文化を発信します

常設展示室の目玉「FUMI NO TAKI」は、過去の入賞作4400点が次々と浮かび上がる映像展示

2階の古城展望室では、四季折々の丸岡城の風景などを映像で鑑賞できます
※入館料は丸岡城の入城料に含まれています

お申込み：丸岡観光ボランティアガイド協会

0776-66-0303（丸岡城管理事務所）

8:30～17:00

丸岡バスターミナル周辺

『丸岡城下町散策寺町コース』

丸岡城ゆかりのお寺を巡るコースです

START 丸岡城（ガイドさんと合流）（30分） WC

▼徒歩 約5分

歴史民俗資料館（15分）

▼徒歩 約15分

本光院（10分） WC

▼徒歩 約5分

白道寺（10分）

▼徒歩 約5分

台雲寺（10分）

▼徒歩 約15分

タブの木・切支丹燈籠（5分）

▼徒歩 約5分

田島川と外堀（5分）

▼徒歩 約5分

越前織工場（10分）

▼徒歩 約15分

一筆啓上日本一短い手紙の館（15分） WC

▼徒歩 約5分

一筆啓上茶屋 WC

お土産

9:00

丸岡城（まるおかじょう）

観光ボランティアガイドさんと丸岡城案内所前で待ち合わせ
春には満開の桜の中に浮かぶ絶景が楽しみ、別名「霞ヶ城」
とも呼ばれる名城

国の重要文化財に登録されています

入城料：450円



9:35

歴史民俗資料館（れきしみんぞくしりょうかん）

2019年3月にリニューアルオープン

1階は丸岡の民俗の歴史を紹介し、2階は丸岡城にまつわる
歴史や貨幣などがご覧いただけます

※入館料は丸岡城の入城料に含まれています



10:05

本光院（ほんこういん）（本多家歴代の墓）

「本多家歴代墓所」は丸岡町異の本光院の境内、本堂に向か
い左手奥にあります

墓は全て笏谷石の五輪塔で、掲載写真の奥から順に本多重次
（丸岡本多家成重の父）、成重（丸岡本多家初代）、重能（丸岡
本多家2代）、重昭（丸岡本多家3代）の墓になっています
坂井市指定文化財史跡です



10:20

白道寺（びやくどうじ）

有馬家菩提寺として、延岡から移って来
た寺のひとつ

境内の供養塔だけでなく、有馬家に関する
貴重な資料も伝わっています



10:35

台雲寺（だいうんじ）

最初は長崎県日野江に有馬家の祖経澄
（けいちょう）のために建てられた有馬家
のもう一つの菩提寺でもあります

江戸時代の越前を代表する文人・俳人
のひとり、丸岡俳諧の基礎を作った菘
笠庵（一紹）梨一の墓です
坂井市指定文化財史跡です



11:00

タブの木

福井震災で周囲の木々が殆ど
焼失した中で、丸岡城当時の名
残を残す唯一の大木

町民は長寿で幸運のタブの木
を国神社の神木としてしめ縄
をはり大切にしています



切支丹燈籠

（きりしたんとうろう）

火袋を支える竿石にマリア像が
彫られ、更に竿石の上部は十字
架をかたどっているようです
キリタン信者が密かに礼拝し
たものだろうと思われま



12:05

一筆啓上茶屋（いっぴつけいじょうちや）

丸岡城の下にあり、挽きたて・打ちたて・茹でたての「越前手打ちそば」
が食べられます

その他にも丸岡の名産品が色々と販売されています



11:45

一筆啓上 日本一短い手紙の館

（いっぴつけいじょう にほんいちみじかいてがみのやかた）

日本一短い手紙コンクール一筆啓上賞の過去入賞作などを紹介する会館
流れ落ちる“文字の滝”から同賞の入賞作が浮かび上がる映像設備など、趣向をこらした
展示で手紙文化を発信します

※入館料は丸岡城の入城料に含まれています



11:20

越前織工場（えちぜんおりこうじょう）

大正4年（1915）霞町の角田広氏と内田良作氏が従来の紋テープ織機を改良し、織マーク工
場を開設し、その頃柳沢仙吉氏も紋ベリヤリボン織機を使って細巾織物を製造し始めました
これが町の基幹産業の細巾織物のスタートといわれています

※要予約

11:10

田島川と外堀（たじまがわとそとぼり）

丸岡城を取り囲む内堀は明治時代には埋め立てられ、今は道路になって
います

外堀は用水路となり、今も町のあちこちにその面影が残っています



お申込み：丸岡観光ボランティアガイド協会

0776-66-0303（丸岡城管理事務所）

8:30~17:00